



平成 21 年 6 月 27 日
社長 大中勝博

【賞与】

賞与は 2 週間後の 7 月 10 日に支給いたします。皆様のお手元には既に定額給付金がきているかも知れませんが、今回の賞与も皆様の生活扶助の色彩が強く、当社は利益の分配を十分にするに至らなかった点を率直にお詫び申し上げます。

仕事を失った方は不本意であったことでしょう。また自分の仕事を維持して、全体を支えてくれた人は大変ご苦労様でした。賞与は個人成果の面もありますが、会社の期間成果の配分もあります。当社に入社して日が浅い人には、特にご辛抱を頂くことになりました。どうかご理解を賜りたく存じます。

この夏には、事務所を「山王の森」を一望する見晴らしの良いビルに移します。未来に備えダッシュできるよう力を蓄え、智恵を磨いておきましょう。皆様には休業や賞与にも耐えて頂き誠にありがとうございます。最後になりましたが、この 1 年の皆様のご努力、ご協力に心より感謝を申し上げます。

【経済見通し】

先日の政府発表では、景気は底を打ったと言っていますので、当社の予想通り来春には景気好転が当社ビジネス上に波及すると思います。では、このたびの世界的な不況は一体何であったのでしょうか。それを理解することが皆様と当社の未来を決めることになりますので、既に何度か申し上げていることではあります、総括をしてみたいと思います。

先ず、20世紀の戦争の時代は終焉しました。第一次世界大戦でもそうですが、近代の戦争は冷戦も含めて、国家総力戦ですから凄まじい物資の消耗があります。その結果、敗戦国では国民の激しい反感を買って革命が起きます。第二次世界大戦後も然りです。皆様ご承知の通り、ソ連崩壊の革命が起り米国の一極支配体制が確立しました。戦争と革命の時代は物が消耗しますからインフレになります。どこの国も敗戦後は猛烈なインフレです。

ところが戦争と革命の時代が終わり、今世紀に入って世界には既にデフレが定着していたにも係わらず、日本でも欧米でも殆ど「インフレ幻想」に支配されていました。ですから米国では一見低利の住宅ローンを組ませ、インフレ効果による値上がり期待をサブプライム・ローンまで広げました。しかもハイ・リスク商売を「証券化」して世界にばら撒き、CDS(貸し出し債権信用保証)によって保障する、と投資家に信じ込ませたのです。

実際はデフレだったのですから、時間の経過とともに破綻は必然です。世界同時の金融恐慌に陥り、お金の流動性が一時的に詰まったわけです。リーマン・ブラザーズは倒産し、GMも連邦 11 条申請(破産)する大惨事になり、日本でも雇用が縮小してしまいました。

しかし、「ハイ・リスク証券」をあまり買わなかった日本は立ち直りは早いです。当社の主要顧客であるリコー様で就業している人は、よくご承知の筈ですが、同社の今日のビジネス上の苦戦の裏で、着々と C 系新商品の開発を進めています。日本の製造業も潜在力として未だまだ強いです。景気の回復とともに復調してくることは間違ひありません。

【当社の対応】

デフレは不況ではなく、物あまりですから値段が下がります。企業の I T 投資でも値段は下がります。従って、当社の使命は今後は高効率開発で廉価なシステムを提供しなければなりません。当社はここに注力し、日本の圧倒的多数の中小企業に短期間で開発したものを、廉価なシステムとして提供すれば大勝利を得ることができます。既にその開発手法と自社商品については着手しました。

【特別賞与】

中嶋 光一：社内受託開発マネージャの貢献を評価し、特別賞与を加算支給します。

村上 雅彦：自社商品開発マネージャの貢献を評価し、特別賞与を加算支給します。

小松 美緒：休業助成金等で当社利益に貢献したので、特別賞与を加算支給します。

大友 一樹：オンサイト開発マネージャ貢献を評価し、特別賞与を加算支給します。

橋本 将吾：オンサイト開発マネージャ貢献を評価し、特別賞与を加算支給します。

前園 和洋：繁忙業務に耐え当社収益に貢献したので、特別賞与を加算支給します。

森藤 健太：繁忙業務に耐え当社収益に貢献したので、特別賞与を加算支給します。

山口 泰成：業務励行により当社収益に貢献したので、金一封の報奨とします。 (規 45-(5))

菊池 晋：業務励行により当社収益に貢献したので、金一封の報奨とします。 (規 45-(5))

【義捐報奨】

従業員就業規則第45条(3)により、以下の人に表彰します。 (平成21年6月26日)

君島 悠介：社内ファイヤ・ウォールの研究に対し、金一封の報奨とします。

副島 謙美：国際宅急便のIT業務研究に対し、金一封の報奨とします。

村上 雅彦：R3Dデータベースの研究及び、社内データ／音声通信のキャリア交渉に対し、金一封の報奨とします。

【人 事】

橋本 将吾：平成21年7月1日よりキーウエア業務を解き、休業とします。

轍轍 良幸：平成21年7月1日よりキーウエア業務を解き、休業とします。

大西 浩之：採用内定とし、平成21年8月1日入社予定とします。

【慶弔】

木村雅志君、平成21年5月28日に母堂ご逝去につき、謹んでお悔やみを申し上げます。

【月例会】

日時：平成21年7月8日(水) 18:00～19:30
場所：本社事務所で開催(大森事務所での開催は最後となります)

議題：(1)賞与支給について
(2)第18期の決算について
(3)第19期の方針発表
(4)事務所移転に伴う事務連絡
(5)秋の社内旅行について